

令和2年3月3日

保護者各位

沖縄県立具志川高等学校  
校長 上原 昇  
(公印省略)

### 新型コロナウイルス感染症対策について

平素より本校教育にご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

みだしのことについて日本政府により全国の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校に臨時休校が要請されました。それに伴い、県教育委員会からも学校の臨時休業について通知がありましたので、本校生徒は下記の期間自宅学習といたします。

つきましては、ご家庭においても予防等について適切な対応を行うとともに、日々の健康状態に留意していただきますよう、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 自宅学習期間

令和2年3月4日(水)～15日(日)

※ 部活動等も禁止とします。

※ 追認考査は係の指示に従って実施します。

※ 自宅学習期間が延長する場合は、前日までに本校のホームページにて連絡します。

#### 2. 協力願い

(1) 自宅学習期間中、毎日健康観察を行ってください。別紙の「健康観察シート」の活用を推奨します。

(2) 37.5℃以上の熱が4日以上続くようであれば、保健所に相談されてください。新型コロナウイルス感染症と診断された場合は、速やかに学校へ連絡願います。

(3) 不要不急の外出は控えるよう、ご家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。

# 健康観察シート

学校名 \_\_\_\_\_

学年・組 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

生徒及び保護者の皆様へ

毎日の検温及び健康状態の確認を行う際、下記の表をご活用下さい。

(例)

月日	3月1日																		
曜日	日																		
朝	検温時間	6:45																	
	体温	36.8																	
	風邪の症状	なし																	
	備考																		
夕	検温時間	7:30																	
	体温	36.0																	
	風邪の症状	なし																	
	備考																		

※37.5度以上の発熱と呼吸器症状（咳・鼻水・のどの痛み他）が4日以上続くなどの疑われる症状がある場合は、下記保健所と相談した上で、医療機関の受診をお願いします。医療機関の受診があった際には以下を記入し、学校へ連絡して頂きますようご協力お願い致します。

受診日(検査日) 令和 年 月 日 ( )

医療機関名 \_\_\_\_\_

診断結果 \_\_\_\_\_

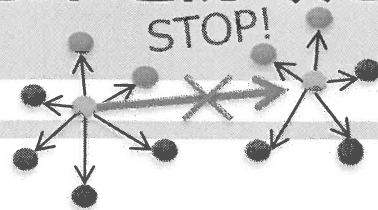
中部保健所

電話番号:098-938-9701

具志川高等学校

電話番号:098-973-1213

# 新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために



## 感染拡大を防ぐために

国内では、散発的に小規模に複数の患者が発生している例がみられます。この段階では、濃厚接触者を中心に感染経路を追跡調査することにより感染拡大を防ぎます。

今重要なのは、今後の国内での感染の拡大を最小限に抑えるため、

**小規模な患者の集団（クラスター）が次の集団を生み出すことの防止**です。

### <感染経路の特徴>

※「小規模患者クラスター」とは  
感染経路が追えている数人から数十人規模の患者の集団のことです。

- ◆ これまでに国内で感染が明らかになった方のうちの8割の方は、他の人に感染させていません。
- ◆ 一方、スポーツジム、屋形船、ビュッフェスタイルの会食、雀荘、スキーのゲストハウス、密閉された仮設テントなどでは、一人の感染者が複数に感染させた事例が報告されています。

このように、集団感染の共通点は、特に、

**「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」**です。

## 国民の皆さまへのお願い

- ◇ **換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。**
- ◇ イベントを開催する方々は、風通しの悪い空間や、人が至近距離で会話する環境は、感染リスクが高いことから、その規模の大小にかかわらず、その開催の必要性について検討するとともに、開催する場合には、**風通しの悪い空間をなるべく作らない**など、イベントの実施方法を工夫してください。

これらの知見は、今後の疫学情報や研究により変わる可能性があります。現時点で最善と考えられる注意事項をまとめたものです。

厚生労働省では、クラスターが発生した自治体と連携して、クラスター発生の早期探知、専門家チームの派遣、データの収集分析と対応策の検討などを行っていくため、国内の感染症の専門家で構成される「クラスター対策班」を設置し、各地の支援に取り組んでいます。